



真 総 7 4 号

平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

北海道虻田郡

真狩村長 佐々木 和 見



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

ご依頼がありました標記の件につきまして別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

# 『道路整備における中期的な計画策定に対する意見』

北海道虻田郡

真狩村長 佐々木 和 見

車社会を迎えた今、道路の果たす役割は、重要な位置づけとなっており、そのネットワークの充実、整備の拡充は、地域の発展・活性化のためには重要な要件となっております。人間に例えると血液を運ぶ血管であり、体の隅々に酸素や栄養を運ぶ役割を果たしているように思われます。

しかし、その1部に血栓が生じるとそこから先の細胞は壊死します。道路も同様でその一部が遮断するとその先の地域は崩壊します。それだけに、道路の役割は重要であり、特に地方に住む私たちにとっては、その整備計画の方針、方向性によっては、まさに死活問題といっても過言ではありません。

現在、道路整備においては、費用対効果が問われており、私自身も必要のないところの道路の整備は不要と考えている1人ではありますが、北海道においては、他の都府県に比べまだまだ不十分と思われ、隅々まで酸素や栄養が行渡っていない状況にあると思います。

特に広大な面積を要し、第一次産業を基盤とする北海道では、道路の整備は産業、経済、生活に直結しており、重要な生命線であります。費用対効果だけではなく、生活直結路線としての考え方も一方では必要ではないかと思われ、地域の実情を踏まえ、私なりの考えを申し上げさせていただきたいと思えます。

## (1) 高速道路網の整備

北海道は、他府県に比べ高速道路網はまだまだ不十分であり、その中において後志は、高速道路の空白地帯であります。食料基地北海道の野菜等農産物や魚貝類の新鮮保持輸送のため、また広い北海道の六つの圏域間の交流（移動）を容易にするとともに、観光産業の振興を図るためにも、高速道路網の整備を願い、道路格差の是正に努めていただきたい。

## (2) 除雪体制及び歩行者の安全充実

冬季間の北海道は、降雪、凍結といった特殊事情があり、特にその中でも後志は豪雪地帯であります。その対応、対策は、そこに住む人たちの生活にとっては、大きな支障をきたす要因となります。車の通行障害となる

除雪の充実とともに、排雪スペースや歩行者が安心して歩くことができる幅員の確保が必要と思われます。

### (3) 安全に運転できる道路の整備

北海道の厳しい風雪による凍雪害は激しく、一冬越えた道路は、補装の亀裂や路面の凸凹を生じます。安全な運転のためには常時、維持補修に配慮する必要があります。また、降雪、路面凍結のためのスリップ防止など安全かつ安心できる道路の整備に関しては、急カーブ、急勾配の道路の解消が必要と思われます。さらに、吹雪などで視界が狭くなるため、道路の幅員を示した標識柱の増設など安全対策は必要と思われます。

### (4) 救急体制への道路整備

大学からの派遣医師の削減等により、診療科目を廃止、縮小する病院が急増しており、地方に住む私たちにとって、ますます病院が遠くなっております。少しでも早く医療機関に行けるような、とりわけ救急患者輸送のための道路整備（高速道路網）は重要と思われます。その必要性は地方に住んでいる者ほど強く感じております。

### (5) 災害に強い交通道路網の整備

いつ来るかわからない地震、噴火など災害時に備え、様々な非難ルートを想定した道路網の整備が必要と考えます。

また、老朽化した道路、トンネル、橋梁などの点検、整備、改修など常時、配慮していただくことが、災害に強い交通道路網の構築につながっていくものと思われます。

### (6) その他

冬の道路は、滑りやすく交通事故の要因となります。現在、塩カルなどの散布により、スリップ事故防止等の対応をされているが、車にとってはサビ・腐食の原因となります。それに変わるものの開発、研究を早急に進めていただきたいと思います。